

平成 21 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名	セガサミーホールディングス株式会社
代 表 者 名	代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 里 見 治
	(コード番号 6 4 6 0 東証第一部)
問 合 せ 先	執 行 役 員 秋 庭 孝 俊
	(電話番号 0 3 - 6 2 1 5 - 9 9 5 5)

当社子会社（タイヨーエレクトリック株式会社）の業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社であるタイヨーエレクトリック株式会社は、平成 20 年 10 月 31 日付にて発表いたしました平成 21 年 3 月期の通期業績予想の修正について、別添のとおり発表いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社業績への影響は軽微であり、本件による当社業績予想の修正はございません。

《添付資料：タイヨーエレクトリック開示資料「業績予想の修正に関するお知らせ」》

以上

各 位

上場会社名 タイヨーエレクトリック株式会社
代表者 代表取締役社長 佐藤 英理子
(コード番号 6429)
問合せ先責任者 執行役員管理本部長 渡邊 暢彦
(TEL 052-502-9222)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,000	1,700	1,700	1,500	65.95
今回発表予想(B)	18,000	1,700	1,700	1,500	65.95
増減額(B-A)	△9,000	0	0	0	――
増減率(%)	△33.3	0.0	0.0	0.0	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	25,334	1,657	1,636	1,423	77.18

修正の理由

遊技機業界を取り巻く経営環境は依然厳しく、遊技機ホールの遊技機に対する評価は厳しさを増しており、遊技機メーカー間の競争はさらに激化するものと予想されます。

このような市場環境の中、パチンコ機において第3四半期に自信作1シリーズおよび第4四半期に自信作1シリーズの併せて自信作2シリーズを発売する予定でしたが、第3四半期に発売を予定しておりました自信作1シリーズの適合が遅れたことにより、第4四半期以降の販売戦略の見直しを行うことといたしました。

パチンコ機について現在の市場動向を鑑みた結果、第4四半期に自信作2シリーズを発売するよりも1シリーズを来期に持ち越し、2シリーズ共にそれぞれの販売に集中させることが、より効果的な販売戦略であると判断し、第4四半期における自信作の発売は1シリーズとする予定であります。

また、第4四半期においては、来期販売を予定しておりました新機種「CRペルソナ3」を発売するとともに、市場評価の高い「CRサムライチャンプルー」(平成20年4月発売)の再販売を行うなどして、販売台数の積み上げに向けた施策を講じております。

これらのパチンコ機の販売戦略の見直しにより、第3四半期以降のパチンコ機販売予想台数を6万台から2万6千台(3万4千台減)に修正いたします。

以上の結果、通期の売上高につきましては、前回予想を90億円下回る180億円と見込んでおります。

しかしながら、利益面につきましては、売上高は減少するもののパチンコ機ゲージ盤(いわゆる面替え)の販売割合が当初予想よりも増加する見込みであり、これにより粗利益の減少がカバーされること、自信作1シリーズの来期持ち越しにより広告宣伝費の当期発生が大幅に抑制されること、生産計画において適正数量の部材発注に努めたことにより部材の廃棄損が大幅に減少すること、開発計画の見直しにより当期に発生する試験研究費が抑制されること、さらに、その他経費の圧縮に努めるなどして、利益額の確保に向けた諸施策を実行することにより前回予想は達成できるものと判断し、変更はございません。

※ 業績予想につきましては、本資料発表日現在の将来に関する前提・見直し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢・市場の動向の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

以 上